

2023年
5月1日
第4号

ほくとぴあ

第28回全国交流集会
東京現地実行委員会ニュース
発行責任者 奥山 信義
編集責任者 千葉愛一郎

東京ブロック全国交流集会スローガン:「交流が力、つなげよう次世代に!」

「全国の仲間との交流が楽しみ」あと40日



—新春旗開き・新春講演会を開き

2023年のたたかいのスタートをきる!—

兵庫県協副会長 森山 容光

兵庫県協では、1月28日(土)、神戸・婦人会館において、労働大学近畿支局と労働大学まなぶ友の会兵庫県協議会共催の「2023年旗開き・新春講演会」を開催し、2023年のたたかいをスタートさせています。新型コロナ禍で、昨年と一昨年は開催を見送り、3年ぶりの開催になりました。各来賓の挨拶を受けた

後、新社会党兵庫県本部書記長の菊地憲之氏から「貧困と格差を考える」と題して記念講演をいただきました。

菊池氏はまず、マルクスは資本主義の問題をどう解明しようとしたかということから「マルクス経済学の方法」から抜粋して説明され、新自由主義は、労働者の貧困だけでなく、社会の崩壊をもたらす本性を持っているとして「人間の非人間化(非正規雇用)」「支配力の強化と民主主義の圧殺(能力主義)」「公共の解体」「国力の弱体化」等が現実問題として目の前で起きていること、特に教育現場で教育崩壊の予兆が広がっていることを指摘されました。複雑な問題ですが、多彩な記事やグラフをもとに分かりやすく講演していただきました。

第28回全国交流集会で全国の仲間と交流できることを楽しみにしています。

—課題は次世代に引き継ぐ仲間づくり!—

東京三多摩県協事務局長 渡部 昌弘

全国交流集会はコロナ感染の収束が見られず、3年連続の中止となりました。久しぶりの開催となりますが、全国交流集会成功に向け全員参加する決意です。三多摩県協は3人とも再雇用も終わり、年金生活者となりました。高齢と共に体力の衰えに不安を抱えてきています。三多摩の喫緊の課題は次世代を担う仲間づくりです。退職して10数年、元職場に入って話しをすることが出来ない人もいます。仲間づくりと言っても難しい状況があります。2年程前、今まで別々の友の会名から【まなぶの火】を消さないようにと、改めて「日野地域友の会」として活動することにしました。個人方針にも仲間づくりや健康維持を目標にかかげています。昨年もコロナ禍で地域の仲間との交流がほとんど出来ませんでした。元職場や地域の仲間には県協の諸活動などに声かけ、交流を深め、諦めずに継続すると共に目標をどのように立て、3人で再検討し取り組む決意です。





— 学び・交流が団結を生む —

東京中部県協

4年ぶりに対面での全国交流集会を開催できることがとても嬉しいです。

東京中部県協は、全員が退職者になりました。コロナ禍の3年間の中で、退会者が出た事がきっかけで、「自分にとってのまなぶ運動とは」の討論を重ね成果や必要性を考え、「納得ずくの討論」の

重要性と「6ブロック統一」がいかに大事かを更に受けとめる事ができました。昨年の東京女性講座、今年の東京ブロックチェーンでは、「自分ならどんな発言をしたいか」を事前に出し合い討論する事で、積極的に発言・交流が出来、主体性も育まれました。退職後、ユニオンや地域に根ざした活動を通して、まなぶ運動を活かしながら仲間づくりを追求しています。全国交流集会では、仲間づくりの取り組みや苦労している事、良かった事等を交流し、お互いに元気を貰える全国交流集会にしたいです。

世界中で紛争が数多くあり、「共に」が難しい今の社会情勢の中で、壁を越え、手を繋ぐ力こそ必要と考えます。

働く労働者が大事にされる社会に変える為に仲間に学びます。

—— 希望者全員の現職復帰と解決金の獲得をめざす ——

JAL不当解雇撤回争議団(JHU)

鈴木圭子(東京北部協うしお友の会)

まなぶ友の会全国交流集会参加の皆さまへ

久しぶりの全国交流集会を楽しみにしていましたが、私がどうしても行かねばならない取り組みと日程が重なったため、参加できなくなりました。

この紙面をお借りして、JAL争議の状況報告と支援要請をさせていただきます。

JAL争議は昨年6月23日に社内2労組に突然会社から「業務委託による業務の提供」が提案され、当該2労組は評価して7月末には会社と合意調印し争議を終結しました。提案は月125,000円の業務を業務委託により2年間希望者全員に提供するというものですが、職場に戻せという要求に対し雇用契約でない提案を私達は認めることはできません。引き続き希望者全員の原職復帰と解決金の要求獲得めざし、35名の争議団が一致団結して戦う所存です。6月には全国で宣伝行動などの、更なる大衆運動でJALと国交省を包囲し解決をめざします。全国行動への参加を始め、支える会への加入など皆様の更なるご支援を是非、よろしくお願い致します。

(JHUのホームページより)